

どうなる? 2018卒の

就職活動スケジュール

現状維持か
再変更か、
不透明な見通し

2016年卒から大きく変更された就職活動スケジュール。さらに、今まさに進行中の2017年卒就活も再度スケジュールの見直しが行われたことで学生と企業、双方に混乱が生じています。そのため、2018年卒（学部3年・修士1年/2016年6月時点）の就職活動スケジュールについては、この記事執筆している5月中旬時点では未確定となっています。サマーインターンシップを控えて情報収集を始めている2018卒の読者もいるかもしれませんが、2017卒の先輩たちは就職活動が進行中のため、スケジュールや就活ノウハウについてじっくり話を聞くことが難しいかもしれません。『どうなる? 2018卒の就職活動スケジュール』では2018卒の就活スケジュールの見直しについて解説します。

現時点では2018卒の
就活スケジュールは未確定

2015年卒までの就職活動は学部3年・修士1年の12月に採用情報が公開され、翌年4月から採用選考が行われるというスケジュールでした。2016年卒を対象とした就職活動スケジュールは学部3年・修士1年の3月1日から採用情報の公開（いわゆる就活解禁日）、8月から採用選考開始となりましたが、翌年の2017年卒はそこから選考開始日のみが前倒しされ6月から開始となりました。就活直前になって日程が変更された2017年卒の就職活動は、前年よりも実質的な活動期間が短縮され、学生・企業双方に混乱が生じています。

この日程変更によって学生・企業の動きにどのような影響があるのか、企業側は一定の検証をしない事には2018年卒就活スケジュールの方向性を決めることは難しいでしょう。それゆえ、2018年卒の就活スケジュールが正式に決定するのは2017年卒の選考が一段落する2016年夏以降になるのではないかと思われます。企業や大学から、「2017年卒スケジュールから大きく変えるべきではない」、「もっと前倒して選考を実施すべき」など、様々な意見が出ており、2018卒の就活

スケジュールがどのように決着するかは予断を許しません。今後の動きを注意深く見ていく必要があるでしょう。

就活スケジュール、採用プロセスは企業ごとに多様化の傾向

とはいえ、前述の就職活動スケジュールは日本経済団体連合会（経団連）が提唱する「採用選考に関する指針」に賛同する企業についての話で、このスケジュールに沿った採用活動を行う企業ばかりではありません。

学部3年・修士1年の秋～冬にかけて採用直結型のインターンシップを行う外資系企業や、早期から採用広報・選考を進めて6月以前に内定出しを行っている企業など、一般的な就活スケジュールに当てはまらない採用活動を行っている企業も少なくないのです。企業による選考や採用プロセスは以前よりも多様化しており、就活生は就活解禁日になってから腰を上げるのではなく、早期からしっかりと情報収集しておくことが重要となるでしょう。

なお、2017卒の就職活動を見てみると、就活生の説明会や面接への参加回数が前年と比較して減少傾向にあります。就活期間が短くなることで、企業の採用スケジュールが過密化し、採用試験や説明会の日程が重複したことが要因とみられます。さらに、卒業

